

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小田原栄町計画 新築工事	階数	地上11F
建設地	小田原市栄町2丁目71-1外	構造	RC造
用途地域	商業地域、近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	128 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	学校、物販店、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年1月16日
敷地面積	583 m ²	作成者	株式会社D'VON建築設計事務所
建築面積	323 m ²	確認日	—
延床面積	2,498 m ²	確認者	—

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
「周辺のまちなみに考慮し、1,2階を非住宅とした。道路面は可能な限り緑地とすることで景観環境に配慮した。」		
Q1 室内環境 F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 躯体は劣化対策等級3を取得し、設備は耐用年数の長い配管材を採用し建物の長寿命化に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の植栽条件に応じた中高木および緑地設計、良好な緑地環境に配慮している。
LR1 エネルギー LED照明設備を採用することで省エネルギーに配慮している。	LR2 資源・マテリアル P.S.、天井内配管等により設備との錯綜を回避し、部材の再利用の可能性を高めている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される